



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	17,156	8.1	951	29.7	986	16.8	637	23.3
2018年6月期第2四半期	15,871	6.6	733	22.1	844	25.0	516	19.7

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 526百万円 (25.0%) 2018年6月期第2四半期 702百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	158.31	
2018年6月期第2四半期	128.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	22,678	11,405	48.3
2018年6月期	22,117	11,088	48.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 10,946百万円 2018年6月期 10,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		50.00	50.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	2.9	1,750	1.9	1,840	0.8	1,070	4.7	265.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	4,369,200 株	2018年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2019年6月期2Q	344,801 株	2018年6月期	344,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	4,024,433 株	2018年6月期2Q	4,024,485 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中経済摩擦や中国経済の減速等の不安材料が取り上げられていましたが、それらが我が国経済までは大きな影響が及ぶことがなかったため、景気の拡大基調が維持され総じて順調に推移いたしました。

当社グループとしましては、守備範囲としているインテリジェントFAシステムビジネスにおいて、IoTを始めとしたイノベーションが活性化し新規のビジネスエリアが急速に拡大しており、また人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボットに対する需要拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには非常に強い追い風が吹きました。また、当社グループの有力客先である日系製造業の海外投資は引続き活発であり、海外で発生する新規需要を15年以上も前から整備・拡大してきた海外ネットワークを活かした海外ビジネスも拡大の一途を辿りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は171億56百万円（前年同四半期比8.1%の増）となり、損益面としましては営業利益が9億51百万円（同29.7%の増）、経常利益が9億86百万円（同16.8%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が6億37百万円（同23.3%の増）となり、売上高及び全損益項目において第2四半期連結累計期間としての過去最高の金額となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、IoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、2年前から開始した水質検査ビジネスが急拡大していること等より順調に推移していますが、受注残の積み上がりによる売上の期ずれが大きかったこともあり、減収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は53億55百万円（前年同四半期比4.1%の減）、営業利益は3億54百万円（同8.2%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等の代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく、安定的な分野であります。当第2四半期連結累計期間においては科学分析機器や輸送機業界の生産好調に牽引されたコンポーネントビジネス等が特に好調で、前年同期に比べ大幅な増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は117億79百万円（前年同四半期比14.8%の増）、営業利益は7億62百万円（同30.1%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計額は226億78百万円で、前連結会計年度末に比べ5億61百万円の増加となりました。これは主として現金及び預金が3億12百万円、投資有価証券が1億43百万円減少した一方、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が9億93百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が112億73百万円で、前連結会計年度末に比べ2億44百万円の増加となりました。これは主として流動負債のその他が1億8百万円、未払法人税等が90百万円減少した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が5億48百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が114億5百万円で、前連結会計年度末に比べて3億16百万円の増加となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が1億46百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が4億35百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況は、米中経済摩擦等の懸念材料があるも現状はそのマイナスの影響が顕在化されておらず、米国経済はじめ世界経済は順調に拡大を続けており、この恩恵を受ける形で我が国経済もしっかりした足取りで推移しています。

斯様な状況下、足元の日本経済で労働力の不足が深刻化しており、ロボット等省力化システムの導入とAIとロボットとのコラボによるロボット作業範囲の拡大・高度化、IoTの普及等新技術の出現によるシステムの高度化・効率化等が革命的に進行しており、これらは当社グループが従来推し進めてきたインテリジェントFAビジネス自体に属し、当社グループビジネスの中核部分で起きている変革であることから、当社グループにとっては技術革新によって創造される新規ビジネスが次々と生まれる非常に有利な追い風が吹いています。

以上により、2019年6月期の通期業績予想につきましては、2018年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,365	1,121,609
受取手形及び売掛金	9,609,479	10,586,735
電子記録債権	2,326,115	2,342,223
有価証券	112,746	-
商品及び製品	562,951	524,447
仕掛品	414,082	529,152
原材料	485,899	582,080
その他	191,226	202,720
貸倒引当金	△230,362	△285,502
流動資産合計	14,906,505	15,603,467
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,949,870	3,932,360
その他(純額)	1,082,669	1,081,482
有形固定資産合計	5,032,539	5,013,842
無形固定資産		
	78,201	79,204
投資その他の資産		
投資有価証券	1,616,001	1,472,177
その他	633,096	654,977
貸倒引当金	△149,317	△145,135
投資その他の資産合計	2,099,779	1,982,019
固定資産合計	7,210,520	7,075,066
資産合計	22,117,026	22,678,534
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,391,698	6,945,946
電子記録債務	1,247,122	1,241,698
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	500,000
未払法人税等	432,818	341,968
賞与引当金	149,372	120,426
役員賞与引当金	46,900	-
その他	747,837	638,880
流動負債合計	10,115,749	9,788,921
固定負債		
長期借入金	600,000	1,200,000
退職給付に係る負債	205,466	205,124
その他	107,188	79,092
固定負債合計	912,654	1,484,217
負債合計	11,028,403	11,273,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,079	1,872,079
利益剰余金	7,521,500	7,957,391
自己株式	△424,300	△424,382
株主資本合計	10,410,719	10,846,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246,269	99,520
その他の包括利益累計額合計	246,269	99,520
非支配株主持分	431,633	459,347
純資産合計	11,088,622	11,405,395
負債純資産合計	22,117,026	22,678,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	15,871,006	17,156,505
売上原価	13,231,467	14,251,400
売上総利益	2,639,538	2,905,105
販売費及び一般管理費	1,905,940	1,953,583
営業利益	733,597	951,521
営業外収益		
受取利息	2,968	2,268
受取配当金	10,199	10,844
仕入割引	19,183	19,878
為替差益	6,624	8,135
補助金収入	68,071	-
雑収入	10,138	10,252
営業外収益合計	117,187	51,378
営業外費用		
支払利息	3,582	2,940
手形売却損	341	-
売上割引	1,758	2,088
デリバティブ損失	-	7,386
雑損失	118	3,500
営業外費用合計	5,801	15,915
経常利益	844,983	986,984
特別利益		
固定資産売却益	220	32,554
投資有価証券売却益	53,852	33,736
保険解約返戻金	-	11,686
特別利益合計	54,072	77,977
特別損失		
固定資産除却損	50	8,753
投資有価証券評価損	-	36,972
事務所移転費用	7,259	-
特別損失合計	7,309	45,725
税金等調整前四半期純利益	891,746	1,019,236
法人税等	334,861	341,136
四半期純利益	556,884	678,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,047	40,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,837	637,112

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	556,884	678,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,286	△151,547
その他の包括利益合計	145,286	△151,547
四半期包括利益	702,170	526,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649,958	490,363
非支配株主に係る四半期包括利益	52,212	36,189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	891,746	1,019,236
減価償却費	84,573	81,696
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,337	50,957
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,799	△28,946
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,485	△46,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	679	△341
受取利息及び受取配当金	△13,168	△13,112
支払利息	3,582	2,940
為替差損益(△は益)	△5,854	△2,333
有形固定資産売却損益(△は益)	△220	△32,554
有形固定資産除却損	50	8,753
投資有価証券売却損益(△は益)	△53,852	△33,736
投資有価証券評価損益(△は益)	-	36,972
売上債権の増減額(△は増加)	△1,306,370	△993,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△904,189	△172,747
仕入債務の増減額(△は減少)	1,162,055	548,824
その他	293,025	△122,827
小計	89,110	302,518
利息及び配当金の受取額	14,149	13,239
利息の支払額	△3,582	△2,940
法人税等の支払額	△271,675	△405,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	△171,997	△92,422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,710	△75,294
有形固定資産の売却による収入	264	50,077
無形固定資産の取得による支出	△6,453	△16,052
定期預金の預入による支出	△1,500	-
投資有価証券の取得による支出	△138,325	△186,485
投資有価証券の売却による収入	163,214	109,378
貸付けによる支出	△24,000	△9,000
貸付金の回収による収入	41,585	26,516
その他	10	△1,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,915	△102,416

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期未払金の返済による支出	△6,219	△21,300
長期借入れによる収入	-	800,000
長期借入金の返済による支出	-	△800,000
自己株式の取得による支出	△249	△82
配当金の支払額	△180,758	△200,921
非支配株主への配当金の支払額	△7,780	△8,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,006	△230,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,258	115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△377,662	△425,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,732,068	1,547,111
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△29,288	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,325,117	1,121,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,587,469	10,262,651	15,850,120	20,885	15,871,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	131,993	233,668	365,662	34,762	400,424
計	5,719,462	10,496,319	16,215,782	55,648	16,271,430
セグメント利益	327,526	586,145	913,671	45,828	959,500

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	913,671
「その他」の区分の利益	45,828
全社費用(注)	△225,902
四半期連結損益計算書の営業利益	733,597

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,355,899	11,779,140	17,135,040	21,465	17,156,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	252,908	383,642	636,550	34,373	670,923
計	5,608,807	12,162,783	17,771,590	55,838	17,827,429
セグメント利益	354,501	762,388	1,116,890	48,721	1,165,611

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,116,890
「その他」の区分の利益	48,721
全社費用(注)	△214,090
四半期連結損益計算書の営業利益	951,521

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。